



第52回日本核医学会学術総会



第32回日本核医学技術学会総会学術大会

2012

10

11

木

12:15-13:15

# ランチオンセミナー1

第1会場

さっぽろ芸術文化の館  
ニトリ文化ホール

〒060-0001 札幌市中央区北1条西12丁目

## 肺癌手術の最前線と PET/CTの意義

座長

宇野公一先生

順天堂大学 医学部 客員教授  
外苑東クリニック 院長

演者

岡田守人先生

広島大学 腫瘍外科 教授

共 催

第52回日本核医学会学術総会  
第32回日本核医学技術学会総会学術大会  
日本メジフィジックス株式会社

 nihon  
medi+physics



第52回日本核医学会学術総会



第32回日本核医学技術学会総会学術大会

## ランチョンセミナー1

# 肺癌手術の最前線とPET/CTの意義

Pearson's Thoracic & Esophageal Surgery (『ピアソン胸部・食道外科』) という、欧米の胸部外科医が座右の書にするという約3000ページの手術書がある。この最新版の冒頭、「肺外科手術の歴史と発展」の章に書かれた「肺癌手術の歴史」に、唯一名前を刻んだ日本人が岡田守人先生である。そこには岡田先生が開発した日本が誇る肺癌治療の技術であるハイブリッドVATS (VATS=胸腔鏡下手術) のことが書き記されている。[DOCTOR'S MAGAZINE 2012年3月号から引用]

本セミナーでは、肺癌手術の最前線についてお話いただくとともに、肺癌手術に求められるFDG-PET/CT診断の意義についても、多施設臨床研究の成果を踏まえて講演していただきます。

### 演者プロフィール



## 岡田守人 (おかだ・もりひと)

### 広島大学 腫瘍外科 教授

1995年 神戸大学大学院医学研究科 修了  
1999年 米国コロンビア大学  
2002年 兵庫県立がんセンター 呼吸器外科  
2007年 広島大学 原爆放射線医学研究所 腫瘍外科 教授  
広島大学大学院医歯薬総合研究科 腫瘍外科 教授  
広島大学病院 呼吸器外科 教授  
環境省 中央環境審議会 専門委員

共 催

第52回日本核医学会学術総会  
第32回日本核医学技術学会総会学術大会  
日本メジフィジックス株式会社

 nihon  
medi+physics